



26春闘最終集計！及び春闘総括を確認！

6月2日、第6回中央執行委員会（第2回中央闘争委員会）を開催し、最終集計と春闘総括について、検討・確認を行った。

速報分会153分会中、142分会に有額回答
回答額平均は12,484円（去年同期11,715円
率にして 4.18%（去年同期3.88%）

6月1日に行った最終集計では、速報分会151分会中、142分会に有額回答が出され、回答額平均は12,484円（去年同期11,715円）、率にして4.18%（昨年同時期3.88%）と若干ではあるが上回る結果となった。ただし、この集計は、昨年除していた沖縄地方を含んでおり、単純に上回ったとは言い難い。

闘争分会では、283分会中、256分会に有額回答が出され、回答額平均は、12,274円（去年同期11,131円）、率にして、4.12%（去年同期3.71%）となった。

そのうち妥結に至った分会は、227分会あり、妥結額平均12,483円（去年同期11,383円）となった。

港湾職種の回答額平均 12,149円（去年同期11,117円）
トラックの回答額平均 10,984円（去年同期 7,715円）
一般職種の回答額平均 14,729円（去年同期14,721円）

職種別の回答状況では、港湾職種の回答額平均が12,149円（去年同期11,117円）、トラック職種が10,984円（去年同期7,715円）、一般職種が14,729円（去年同期14,721円）となった。いずれの職種も率にして統一妥結水準の4%近い数字となっている。

2026年春闘総括では、多くの分会で有額回答を引き出し、一定の前進を勝ち取ったと言えるが、日興サービス分会など未解決分会もあることから、組合員の協力をお願いする。

今後も現場実態に根ざした運動と産別統一闘争を強化し、港湾労働者の生活と権利、そして物流・港湾の公共性を守るため、全国の仲間とともに引き続きたたかいを進めていくことが求められている。

以 上